

口腔粘膜疾患診断支援AIの研究開発

大阪大学歯学研究科 平岡慎一郎

目的：AIによる画像認識技術を用いて口腔粘膜疾患の早期発見・鑑別を可能にする

内容：多施設より収集した数万枚の口腔内写真をFasterR-CNNモデルにより学習・評価を行い、病変部分の物体検出を目指す

結果：口内炎、白板症、癌、正常、良性腫瘍の鑑別が可能になったが、さらなる精度向上が必要である。

利用した計算機
ノード時間
使用メモリ
ベクトル化率
並列化

OCUTOPUS
時間
192GB
%
並列

